

[Back to list](#)

1)

1-1/3

[Next page](#)

From 2

-|1

Count

Display format [\[P805\] Bibliographic Data, Abstract](#)

[Display checked documents](#)

[Check All](#)

[Uncheck All](#)

** Result [U] ** Format(P805) 2006.05.19 1/ 3

Application No./Date: 1981- 19069[1981/ 2/12]

Public Disclosure No./Date: 1982-132051  Translate [1982/ 8/17]

Registration No./Date:

[]

Examined Publication Date (present law):

[]

Examined Publication No./Date (old law):

[]

PCT Application No.:

[]

PCT Publication No./Date:

[]

Preliminary Examination:

()

Priority Country/Date/No.: () [] ()

Domestic Priority:

[] ()

Date of Request for Examination:

[1985/ 1/16]

Accelerated Examination:

()

Kind of Application:

(0000)

Critical Date of Publication:

[1981/ 2/12]()

No. of Claims:

(1)

Applicant: MATSUI YASUYUKI

Inventor: MATSUI YASUYUKI

IPC: F02F 7/00 F02D 15/04

FI: F02F 7/00 F F02D 15/04 D F02B 75/04

F-Term: 3G024AA02,AA21,AA44,AA46,AA47,AA60,DA25,FA00,3G092AA12,AA18,DD07,FA02, FA16,FA24,GA05

Expanded Classification: 212

Fixed Keyword:

Citation: [19,1988. 7. 7,04] (04,JP,Granted Patent,0000183400)

[19,1988. 7. 7,04] (04,JP,Examined Utility Model Publication,1955011702)

Title of Invention: Variable compression ratio internal combustion engine

Abstract: [ABSTRACT]

If adjusting airplane to couple cylinder block region and crankcase regi with a cylinder block part and a crankcase part is used, and a kin zukereba compression ratio is high each other, and it is kept away in a stroke direction of cylinder, a compression ratio goes low.

[Check All](#)

[Uncheck All](#)

[Display checked documents](#)

Display format [\[P805\] Bibliographic Data, Abstract](#)

1-1/3

[Next page](#)

From 2

-|1

Count

[Back to list](#)

公開実用 昭和57-132051

1)



実用新案登録願 年 2月 12日 差出

昭和56年2月10日

特許庁長官

殿

1. 考案の名称 カヘン ファシフヒ ナイネン キカン
可変圧縮比内燃機関

2. 考案者

フリガナ 所(居所) 出願人に同じ

フリガナ
氏名

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

5 2 2 - □ □

フリガナ 所(居所) シガケン ヒュネシモトテ
住 所(居所) 滋賀県 彦根市元町 1番65号

フリガナ (法人にあつては名称) マツ 1 ヤス ユキ
氏名(および代表者の氏名) 松居 保行



4. 添付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 願書副本
- (4) ()



1通
1通
1通
(通)

方審式査



132051
56 019069 635

明細書

1. 考案の名称

可変圧縮比内燃機関

2. 実用新案登録請求の範囲

ピストン式内燃機関において、その機関のシリンドラーブロック部とクランクケース部とを、機関の運転中、変化する要求圧縮比に合せて、シリンダーのストローク方向に、互いに近づけたり遠ざけたり相対移動させることにより、常に理想的な圧縮比が得られることを特徴とする 可変圧縮比内燃機関。

3. 考案の詳細な説明

この考案はピストン式内燃機関の圧縮比に関する。従来、ピストン式内燃機関においては、運転中その機関の圧縮比を変えることは不可能であった。したがって圧縮比は、その機関の高負荷時あるいは吸気充填量の最も多く時に合せて設定されていた。このため低負荷時 あるいは吸気充填

量の少ない時は、見かけの圧縮比に達せず、熱効率の低下をまぬいた。またさうにターボチャージャーのような過給機付き機関では、一定に設定された圧縮比のために、最高過給圧が異状燃焼の問題等で大きく制限されていった。本考案は、上記の欠点を解決することを目的とする。

本考案を図面に基いて説明すると、機関の燃焼室等を構成するシリンダーブロック部(1, 1')とクランクシャフトを保持するクランクケース部(2, 2')とを、シリンダーブロック部およびクランクケース部に連結する調整機(3, 3')を用いて、シリンダーのストローク方向に互いに近づければ圧縮比は高く、遠ざければ圧縮比は低くなり、機関を異状燃焼を生ずることなく高い効率で運転しようとすれば、変化する要求圧縮比に合せて調整機(3, 3')を用いて常に理想的な圧縮比を得ることができる。これにより常に高い効率で機関を運転することができ、その低燃費化を図る。さらに過給機付き機関では最高過給圧の増大が可能となり、その効率の上昇を図ることができる。ま

た 異状燃焼が防止されるため、いかゆるノックシグが生せず、あつかいやすい長寿命の機関になると考えられる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は機関の両側に調整機を用いた一実施例の断面図。

第2図は機関の片側にちょうつがい式連結部、もう一方側に調整機を用いた一実施例の断面図。

1, 1' = シリンダーブロック部。

2, 2' = フランクケース部。

3, 3' = 調整機

4' = ちょうつがい式連結機。

5, 5' = ピストン。

6, 6' = フランクシャフト

7, 7' = オイルシール

实用新案登録出願人 松居保行

図1

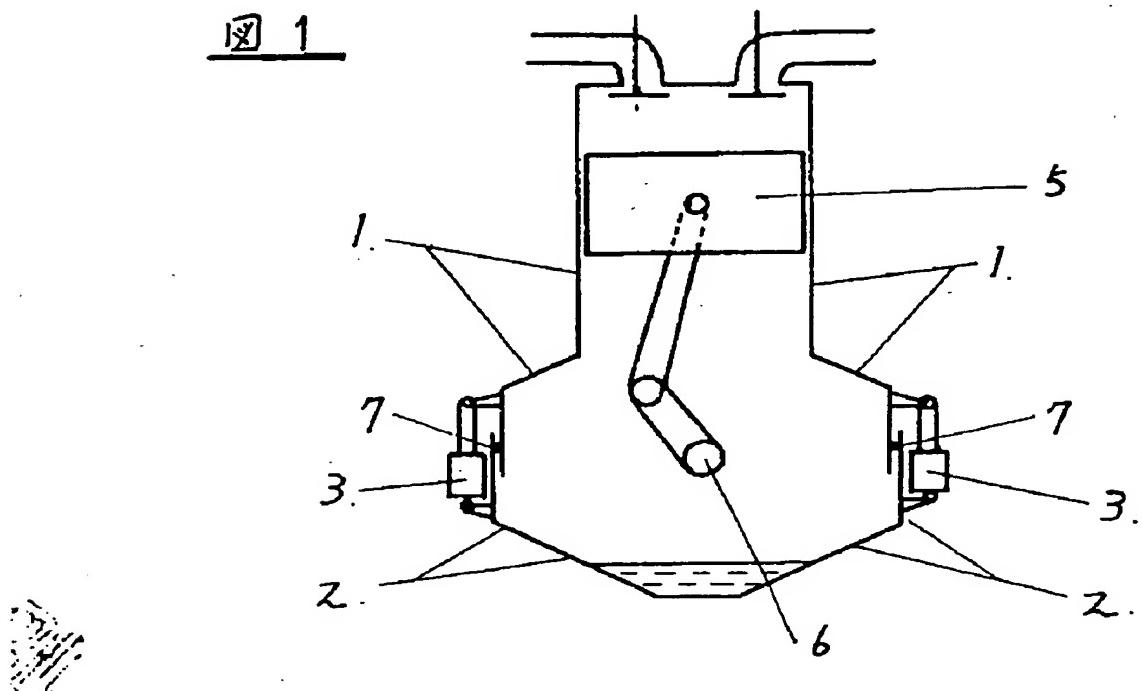
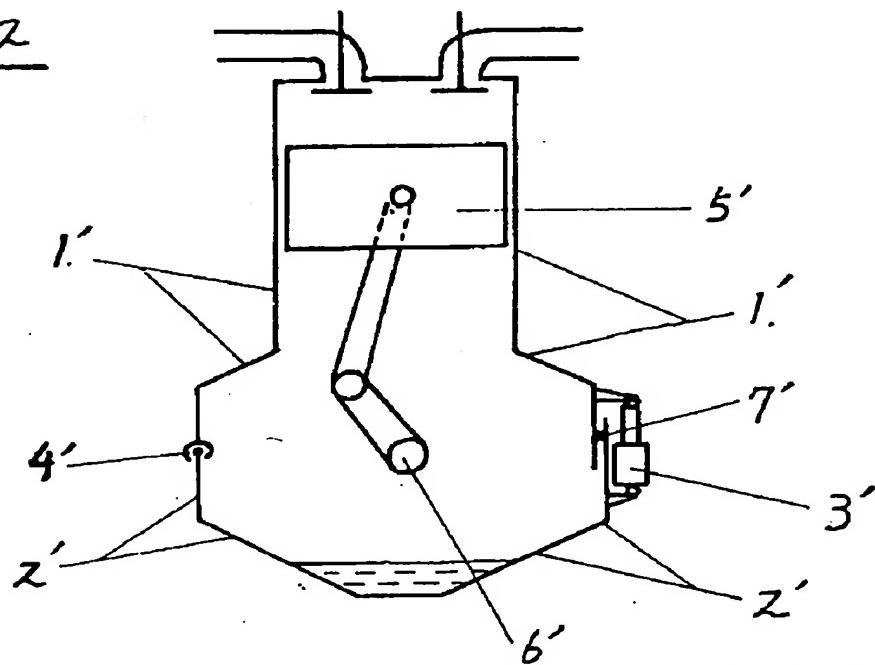


図2



132051

实用新案登録出願人 松居保行
639